

INDEX

| | |
|--|----|
| 日本教育工学会 2020 年秋季全国大会のお知らせ (第四報) | 02 |
| 日本教育工学会 2021 年春季全国大会のお知らせ (第二報) | 07 |
| 日本教育工学会シンポジウム 開催報告 | 09 |
| 日本教育工学会論文誌 特集集合 論文募集 (第一報) | 12 |
| 「特集：初等中等教育のデジタルトランスフォーメーション」 | |
| SIG-01 高等教育・FD / SIG-07 インストラクショナルデザイン | 14 |
| 「大学教員のための FD 研修会 (オンラインワークショップ)」開催案内 | |
| SIG-11 情報教育 | 16 |
| 第 18 回研究科「大学生に対する情報リテラシーの達成状況について」開催案内 (第二報) | |
| SIG-07 インストラクショナルデザイン | 17 |
| 「第 9～10 回 ID 勉強会 (自主ゼミ)」開催報告 | |
| SIG-13 STEM 教育 第 4 回研究会 | 18 |
| 「どうする STEM/STEAM 教育? (STEM/STEAM 教育ははじめの一步)」開催報告 | |
| 研究会の開催案内「教育の情報化／一般」 | 19 |
| 研究会の発表募集「学習支援システム／一般」 | 19 |
| 研究会の開催報告「教育方法・教育実践研究／一般」 | 19 |
| 日本教育工学会第 18 期第 11 回理事会議事録 | 20 |
| 日本教育工学会第 18 期臨時理事会 (04/30～05/06) 議事録 | 21 |
| 日本教育工学会第 18 期第 12 回理事会議事録 | 22 |
| 日本教育工学会 18 期 13 回理事・評議委員会 (合同) 議事録 | 24 |
| 日本教育工学会第 18 期第 14 回理事会議事録 | 25 |
| 日本教育工学会第 18 期臨時理事会 (7/31～08/06) 議事録 | 27 |
| 日本教育工学会第 36 回通常総会 議事録 | 28 |
| 新入会員 (2020 年 05 月 22 日～2020 年 07 月 08 日) | 29 |

2020 年秋季全国大会のお知らせ(第四報)

大会 Web サイト : <https://www.jset.gr.jp/taikai37/>

日本教育工学会 2020 年秋季全国大会を、下記のようにオンラインで開催します。多くの方々の研究発表・ご参加をお待ちしています。

1. 開催期日・会場

期日：2020 年 09 月 12 日（土）～13 日（日）

会場：オンライン開催

懇親会会場：オンライン開催

（オンライン開催会場への接続に必要な情報は参加登録を済ませた方に別途御案内いたします）

2. 大会日程

| 09 月 12 日（土） | | 09 月 13 日（日） | |
|---|--|---|------------------------------|
| 09:00～ 09:20 オープニングセレモニー | | | |
| 09:30～10:30 キーノート 1 “The Present and Future of Minerva Schools - From Higher Education to Secondary Education and Beyond” | | 09:30～10:40 一般研究発表 3 （ポスター発表） | 9:30～11:30 President Talk |
| 10:40～12:20 シンポジウム 1 『オンライン授業』から我々は何を学んだか ～ポストコロナ時代の教育の展開～ | | 10:50～12:10 企画セッション | |
| 12:30～13:30 ランチブレイク ・チュートリアルセッション 1 ・企業展示 Q&A タイム | | 12:30～13:30 ランチブレイク ・チュートリアルセッション 2 ・チュートリアルセッション 3 ・企業展示 Q&A タイム ・コラボレーション企画 | |
| 13:30～14:40 一般研究発表 1 （ポスター発表） | | 13:30～14:40 一般研究発表 4 （ポスター発表） | |
| 14:50～16:00 一般研究発表 2 （ポスター発表） | | 14:50～17:00 シンポジウム 2（一般公開） 「オンライン教育本格化時代の情報モラル教育」 | |
| 16:10～17:00 全体会 | | | |
| 17:00～18:00 懇親会 | | 17:00～17:10 クロージングセレモニー | |
| 大会 Web サイトによるオンデマンド配信（大会前より配信開始） ・チュートリアル 1 SIG 活動の内容・方針を中心に、本学会の取り組みについて ・チュートリアル 2 本学会論文誌への投稿および査読対応について ・チュートリアル 3 論文種別ごとの評価を含む査読の方針について ・企業展示 | | | |

- ・オンライン開催に変更されたことに伴い、お知らせしていたプログラムを一部変更いたしました。
- ・キーノート 1 や President Talk は、海外からオンラインで参加していただく予定であるため、時差を考慮し、午前中の開催へと時間に変更になりました。
- ・開始時にオープニングセレモニー、終了時にクロージングセレモニーを設けます。
- ・チュートリアルセッションと企業展示については、オンデマンド形式での映像配信に加えて、担当者と意見交換を行う機会を設けます。

3. 今大会での注目点・注意点

- ① 日本教育工学会 2020 年秋季全国大会は、オンラインでの開催となります。今大会が初めてのオフィシャルなオンライン全国大会となります。
- ② オンライン開催の強みを生かし、キーノート・シンポジウムでは、ネットワークを介してスピーカーに登壇していただき、チャット等を用いて全参加者でディスカッションをする機会を設ける予定です。ポスターセッションでは、セッション中の意見交換のみならず、大会期間を通してポスターを閲覧したり、セッション時間以外にも発表者と参加者が意見交換したりできるシステムを取り入れる予定です。
- ③ 1 日目 (09 月 12 日) の 9 時からオープニングセレモニー、2 日目 (09 月 13 日) の 17 時からクロージングセレモニーを新たに設けます。
- ④ 参加費は、プログラム集、ダウンロード版の講演論文集を含んだ価格となります (2020 年春季全国大会から USB 版の講演論文集の配布をやめ、希望者のみに別途販売することになりました)。プログラム冊子は、大会参加申込をした方に、09 月 08 日以降に郵送されます。
- ⑤ 学生への優遇措置を設け、学生会員が事前に参加申し込みをした際は、参加費を無料とします。
- ⑥ 秋季全国大会の一般研究発表は、ポスター発表のみです。オンライン開催にあたり、従来は掲示のために当日会場に持ち込んでいたポスターのデジタル版を事前に作成し、大会 Web サイトに登録して大会参加者に限定公開していただきます。その上で、発表セッションの時間帯にポスター発表者は、割り当てられた発表時間にはオンラインによる説明及び討論に従事しなければなりません。オンライン討論の方法は種々ありますが、発表者自身に Zoom ミーティングを用意していただくか、大会 Web サイトで用意したチャット等を使った討論に従事していただくことで、在席責任時間とみなすことにします。なお、ポスターを補完するために短い映像を予め作成して大会 Web サイトで公開できるオプションを設ける予定です。
- ⑦ 大会参加及び発表のためのヘルプデスクを設けます。また、ポスターデータや Zoom ミーティング用 URL の登録等に関するマニュアルを、
https://taikai.jset.gr.jp/manual/JSET2020_manual_Ver1_1.pdf に準備しました。

4. 各セッションについて

(1) キーノート／シンポジウム

初日のキーノートについては、ゲストスピーカーとして、オンライン教育を展開する米国ミネルバ大学の創設者である Ben Nelson をお招きし、遠隔接続による講演と質疑応答を行っていただきます。また、シンポジウム 1 は『オンライン授業』から我々は何を学んだか ～ポストコロナ時代の教育の展開～』と題し、キーノートに関連したディスカッションを行います。2 日目のシンポジウム 2 は、情報モラル教育に関連するテーマとして「オンライン教育本格化時代の情報モラル教育」を行います。

・キーノート

"The Present and Future of Minerva Schools - From Higher Education to Secondary Education and Beyond"

キーノートスピーチ：Ben Nelson (ミネルバ大学 創設者／CEO)

コーディネータ：鈴木克明 (日本教育工学会会長／熊本大学)

司会：合田美子 (熊本大学)

※大会前から講演動画をオンデマンド配信し、質問を事前から受け付けます。オンライン開催サイトには、09 月 04 日からログイン可能になります。

※言語：英語 (同時通訳あり)

・シンポジウム 1 『オンライン授業』から我々は何を学んだか ～ポストコロナ時代の教育の展開～

コーディネータ 重田勝介 (北海道大学)

パネリスト Ben Nelson (ミネルバ大学 創設者／CEO)

金子暁 (広尾学園中学校高等学校)

前田康裕 (熊本大学教職大学院)

重田勝介 (北海道大学)

- ・シンポジウム2「オンライン教育本格化時代の情報モラル教育」(YouTubeにて一般公開)
 コーディネータ 豊田充崇(和歌山大学)
 パネリスト 藤川大祐(千葉大学)
 塩田真吾(静岡大学)
 笹田宗孝(札幌市立平岡中学校)

(2) President Talk

JSETでは、2014年に米国教育コミュニケーション・工学会(AECT)、2017年に中国教育技術協会(CAET)、2018年に韓国教育工学会(KSET)と学術連携に関する覚書が交換され、以来国際交流を積極的に展開してきました。過去、AECT関係者によるランチョンセミナーおよびKSET、CAET関係者によるInternational Sessionでの各国における教育状況の話題提供が行われ、海外の教育工学に関する研究状況について共有する機会を設けてきました。

一昨年度より、さらにその交流を発展させることを目的として、これまでの取り組みを統合・改変し、新たに「President Talk」を開催することとしました。President Talkでは、各学協会関係者をお招きし、最新の研究動向や理論、概念の紹介、各国における教育工学の重点課題や様々なテクノロジー等を利用した教育実践事例の共有が行われます。

今年度は、各国の代表に加え、JSET 鈴木会長にも登壇して頂き、各国の教育工学に関する研究動向や教育課題について議論して頂きます。グローバルなレベルでの今後の研究のあり方について議論する機会となりますので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

- ・登壇者 ミッチェル・グラント(AECT 会長, サウスカロライナ大学)
 黄栄杯(CAET 副会長, 北京師範大学)
 曹恩順(KSET 会長, 牧園大学)
 鈴木克明(JSET 会長, 熊本大学)
 - ・司会 竹中喜一(JSET 国際交流委員, 愛媛大学)
- ※言語: 英語(通訳はありません)

(3) チュートリアルセッション

本大会では、3つのチュートリアルセッションを設ける予定です。セッション1「参加して楽しい、SIG活動のこれまでとこれから」では、本学会の取り組みについてSIG活動のこれまでとこれからを中心に、SIG委員会委員長がご紹介します。セッション2「論文賞受賞者に聞く、査読対応の極意」では、本学会論文誌への投稿と査読対応の事例を、過去に論文賞を受賞した学会員がご説明します。加えて、新たに発刊される合同英文誌ITELのご案内を、共同編集委員長が行います。セッション3「査読者と語り合う査読ガイドラインの裏側」では、本学会論文誌の査読方針および査読の観点を、編集委員会編集長がご説明します。いずれのセッションも動画コンテンツを大会前から視聴できるようにし、当日はZoomによるリアルタイムセッションを実施します。

(4) 一般研究(ポスター発表)

秋季全国大会の一般研究発表は、ポスター発表のみです。発表者と参加者による討論は、発表者が用意したZoomミーティングか大会Webサイトで用意したチャット等で行います。なお、ポスターを補完するために短い映像を予め作成して大会Webサイトで公開できるオプションを設ける予定です。発表時間は70分です(休憩を含む)。

(5) 企画セッション

企業や将来構想WGによる企画が下記の通り実施されます

| | |
|----------|---|
| 企画セッション1 | JSET Vision 2030: 学会の将来構想公開討論会 |
| 企画セッション2 | オンラインでの基礎学力強化・入学前教育・就職筆記試験対策とテストのWEB化 |
| 企画セッション3 | コロナ渦におけるメディア利用と変化とNHK for School |
| 企画セッション4 | 遠隔・オンライン教育を推進する教育プラットフォーム「Microsoft Teams for Education」の活用について |

(6) コラボレーション企画

JSET コミュニティ構築企画「教育工学者との出会い オンライン」を開催いたします。

5. 一般研究（ポスター発表）について

(1) 発表したとみなすための要件（オンライン開催用）

- ポスターセッションに発表申込をした場合は、次のようなオブリゲーション（責務）があります。以下の＜発表前＞、＜大会当日及び大会期間中＞のオブリゲーション（責務）を満たさなかった場合、発表を取り消すことがあります。

＜大会当日及び大会期間中＞

| | 発表者に求められること |
|-------------------|--|
| 発表者全員 | 発表時間に関わらず、大会期間中に参加者からコメントが付記された際は、可能な限り意見交換を実施。 |
| Zoom で発表及び質疑応答する者 | 発表時間に Zoom ミーティングを開催し、参加者に対して発表及び質疑応答を実施。 |
| チャット等で発表及び質疑応答する者 | 発表時間に大会 Web サイトの Jamboard を用いて、参加者に対して発表及び質疑応答を実施。 |

(2) 発表内容の撮影、録音、録画等について

- 大会における受信画像、発表資料の録画（画面キャプチャを含む）、保存、再配布を禁止します。
- 大会スタッフが記録用写真やニューズレター用の写真を撮影します。撮影を拒否される方は、撮影しないようスタッフにお伝え下さい。

6. 大会の参加申込及び受付等について

大会に参加を希望される方は、以下の手順に従って申し込みをお願いします。

(1) 参加費等について

- 発表者以外の方の支払期限は、大会 3 日前の 2020 年 09 月 09 日（水）17 時です。払込の確認を行うため、それ以降の参加登録は原則として認めません。
- 発表者以外

| | 参加費（一般価格） 08/31(17 時 00 分)～09/09(17 時 00 分) |
|----------------|--|
| 正・准会員(名誉会員は無料) | 9,000 円 |
| 学生会員 | 2,000 円 |
| 非会員 | 11,000 円 |
| 非会員の学生 | 4,000 円 |

- USB 版講演論文集 4000 円（送料+500 円）
- 参加費には、ダウンロード版講演論文集及びプログラム冊子代を含みます。参加費には、昼食費等の食事代は含まれておりません。
- お支払い後、09 月 09 日（水）17 時までのキャンセルについては、大会企画委員会（a-taikai2020@jset.gr.jp）までご連絡下さい。送金なさった分を次年度の年会費に振り替えることができます。返金はできません。また、非会員の方がキャンセルされる場合は入会をしていただくことになります。この日以降は、ご連絡いただいても、原則として振替等ができないことをご了承下さい。
- 卒業見込み年月が過ぎた学生会員で継続の連絡がない場合は、「准会員」に会員種別が変更されています。学生会員としての特典はありませんので、ご注意下さい。

(2) 参加登録について

参加申し込みのシステムには、大会 Web サイトからアクセスして下さい。支払い方法は、「①クレジットカード」「②払込・振替」の 2 つから選択できます。学生会員で 08 月 31 日（月）17 時までに参加登録をした方は支払金がありませんので、「支払い金なし（学生会員で事前申込の方のみ）」を選択して下さい。

①クレジットカードによる支払い

申し込み後に、クレジットカードの情報を入力する画面に進めます。

②払込・振替

申し込み時に表示される金額と送金内容を、郵便局に備え付けの払込取扱票に記入して、郵便局の窓口から送金して下さい。必ず会員番号をご記入下さい。

* 当日の支払いは対応できなくなりました。事前の送金をお願いします。

(3) 参加証、領収書について

- ・ 参加登録時に、マイページへのログイン情報についてのメールが送付されます。大会当日以降に参加証・領収書をダウンロードすることができます。

(4) 講演論文集のダウンロードについて

- ・ 事前申し込みされた方は、大会初日の約1週間前(09月04日(金)を予定)から講演論文集をダウンロードしていただけるようになります。

7. 企業の展示について

本大会では、協賛企業による展示を行います。展示は、大会 Web サイトにオンデマンドで設け、大会前から視聴できるようにします。また、両日の 12:30~13:30 に Q&A タイムを設けます。

8. 問い合わせ先

大会全般に関しては以下にお問い合わせ下さい。

大会企画委員会(秋季全国大会)問い合わせ用電子メールアドレス：a-taikai2020@jset.gr.jp

| | | | |
|---------|---------------|---------|----------------|
| 大会企画委員長 | 姫野完治(北海道教育大学) | 大会実行委員長 | 美馬のゆり |
| 副委員長 | 森田裕介(早稲田大学) | | (公立はこだて未来大学) |
| | 大久保昇(内田洋行) | 委員 | 石田雪也(千歳科学技術大学) |
| 幹事 | 瀬戸崎典夫(長崎大学) | | 金子大輔(北星学園大学) |
| | 坂本将暢(名古屋大学) | | 重田勝介(北海道大学) |
| 委員 | 金子大輔(北星学園大学) | | 杉浦真由美(北海道大学) |
| (五十音順) | 渡邊文枝(東北大学) | | 姫野完治(北海道教育大学) |
| | 伏木田稚子(東京都立大学) | | |
| | 小林由昭(内田洋行) | | |
| | 中寫康二(関西国際大学) | | |
| | 近藤秀樹(九州工業大学) | | |
| 担当副会長 | 堀田龍也(東北大学) | | |
| アドバイザー | 鈴木克明(熊本大学) | | |

日本教育工学会 2021 年春季全国大会のお知らせ(第二報)

日本教育工学会 2021 年春季全国大会を下記のように、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスにおいて開催します。大会までのスケジュールが前回春大会よりも早くなりましたので、ご注意ください。多くの方々のご参加をお待ちしています。また、研究発表にもふるってご応募下さい。

1. 開催期日・会場（オンライン開催の可能性あります）

- ・期日：2021 年 03 月 06 日（土）～03 月 07 日（日）
- ・会場：関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1 番 155 号
https://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_001816.html

最寄駅

- ・阪急電鉄今津線甲東園駅西口 1 番または 2 番のりば阪急バス「関西学院前」行き約 5 分、もしくは徒歩約 12 分（急な坂道がありますので、ご注意ください）
- ・阪急電鉄今津線仁川駅西または東改札口より徒歩約 12 分
- ・JR 西宮駅北出口 1 番のりば阪急バス「甲東園」行きで「関西学院前下車」約 15 分

大会までのスケジュール

- ・発表・参加申込受付開始：10 月 02 日（金）
- ・自主企画セッション申込締切：11 月 06 日（金）
- ・自主企画セッション採否通知：11 月 13 日（金）までに行います
- ・発表原稿締め切り：11 月 27 日（金）17 時
- ・発表者参加申込受付期限：12 月 18 日（金）17 時
- ・発表者以外の参加申込受付期限：2021 年 01 月 08 日（金）17 時

2. 全体スケジュール

発表時間：20 分（プレゼンテーション 15 分，質疑応答 4 分，交代 1 分）

| 03 月 06 日（土） | 03 月 07 日（日） |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 09:00～10:20 研究発表 | 09:00～10:20 研究発表 |
| 10:30～11:50 研究発表/ 自主企画セッション | 10:30～11:50 研究発表/ 自主企画セッション |
| 13:30～15:10 研究発表 | 13:00～14:30 全体会・SIG トーク |
| 15:30～17:30 研究発表 | 14:40～16:30 シンポジウム |
| 18:00～20:00 懇親会 | |

なお、オンライン開催への変更など、関係諸事情によって変更の可能性がありますので、ご了承下さい。

3. 今大会における注意点

3.1. オンライン開催

2021 年春季全国大会については、現状では対面実施の方向を考えていますが、新型コロナウイルス感染症の感染状況、政府・自治体の方針や開催校内の規定などに基づき、オンライン開催となる可能性があります。オンライン開催になりましたら、公式に学会としてオンライン開催をすることになりますので、オンライン開催であっても、発表・参加できることを前提にお申し込み下さい。

3.2. ネットワーク利用と講演論文集等について

- ・ネットワーク利用サービスの提供はございません。
- ・講演論文集はオンライン配信に一本化し、USBでの配布をいたしません。あらかじめダウンロードの上、ご参加下さい。
- ・USBでの講演論文集をご希望の方は、1つ4,000円で販売しますので、受付窓口にてお求めください。冊子版の販売はございません。オンライン開催となった場合はまた後日、購入方法をご案内致します。
- ・当日受付時には、プログラム冊子をお渡しします。

3.3. セッション・企画について

- ・本春季全国大会の一般研究発表は、口頭発表のみです。発表テーマのカテゴリーはSIGのテーマに従ったものとなります。インターナショナルセッションも口頭発表にて開催致します。
- ・研究発表の枠では、一般研究発表と学生セッションを開催し、研究発表とは別に自主企画セッションを開催します。

3.4. 参加費について

- ・参加費は、オンライン配信の講演論文集およびプログラム冊子を含んだ価格となります。
- ・参加費の詳細は後日、ウェブページやニューズレターにてお知らせ致します。

4. 大会運営組織

春季大会企画委員会

春季大会実行委員会

| | |
|--------|--------------|
| 委員長 | 山田政寛（九州大学） |
| 副委員長 | 松河秀哉（東北大学） |
| | 時任隼平（関西学院大学） |
| 幹事 | 椿本弥生（東京大学） |
| | 川面きよ（帝京大学） |
| 委員 | 遠海友紀（東北学院大学） |
| | 大山牧子（大阪大学） |
| | 今野貴之（明星大学） |
| | 泰山裕（鳴門教育大学） |
| | 竹中喜一（愛媛大学） |
| | 長濱澄（東京工業大学） |
| | 御園真史（島根大学） |
| 担当副会長 | 堀田龍也（東北大学） |
| アドバイザー | 鈴木克明（熊本大学） |

| | |
|--------|--------------|
| 実行委員長 | 住政二郎（関西学院大学） |
| 実行副委員長 | 時任隼平（関西学院大学） |
| 実行委員 | 福山佑樹（関西学院大学） |
| 実行委員 | 三井規裕（関西学院大学） |
| 実行委員 | 西口啓太（関西学院大学） |
| 実行委員 | 井ノ上憲司（大阪大学） |
| アドバイザー | 小柳和喜雄（関西大学） |
| アドバイザー | 村上正行（大阪大学） |

日本教育工学会シンポジウム 開催報告

- ・日時：2020年06月20日（土）
- ・会場：Zoomを用いたオンライン会議

1. 午前の部（10:00～11:45）ラウンドテーブル（会員対象）

「コロナ禍におけるJSETの役割を考える」

- ・司会進行役：村上正行（企画委員会 委員長）
- ・参加者：90名

午前の部のラウンドテーブルでは、学校現場や企業などにおける新型コロナウイルス感染症対策の必要性に着目し、コロナ禍における日本教育工学会（JSET）の役割を考えることをテーマとしました。本ラウンドテーブルでは、JSET 会員が関わっている小、中、高校、大学、企業、インフォーマルな学びなどの事例を提供すると共に、座談会形式で質疑応答などを行い、情報を共有することを目的としました。

まず、司会進行役の村上正行（大阪大学）から、本ラウンドテーブルの主旨説明に加えて、コロナ禍における文部科学省からの通知や、初等・中等教育におけるオンライン授業に関する情報が提供されました。さらに、JSET の取り組みとして、SIG-04（教育の情報化 SIG）が発行した「学校と家庭を繋ぐオンライン学習ガイド」（<https://www.jset.gr.jp/sig/sig-04/>）や、教育システム情報学会との連名での授業目的公衆送信補償金等管理協会（SARTRAS）に対する依頼の事例についても紹介されました。

次に、グループワーク 1 として、参加者自身が取り組んできたオンライン授業の実践の紹介や工夫、悩みなどを共有する時間を設けました。本活動では、Zoom のブレイクアウトルーム機能と Google スライドを利用し、5～6名のグループで1枚のスライドに実践例・工夫・悩みをまとめる形で進めました。その後、各グループから集約されたオンライン授業の実践や工夫、悩みを 15 分ほど参加者全体で共有しました。

続いて、グループワーク 2 では、今回の経験も踏まえて JSET として取り組むべきことや、取り組んでほしいことについて、グループからの提案を整理する活動を行いました。本活動では、Zoom のブレイクアウトルームと Google Jamboard を使用しました。参加者は、グループワーク 1 とは異なる 4～5名のグループに分かれ、各グループの検討内容をオンライン上で共有された付箋を用いて整理・分類することで提案を可視化しました。その後、各グループからの提案を、参加者全体で共有する時間を 15 分程度設けました。

本ラウンドテーブルを通して、オンライン授業に関する具体的な実践事例や、多様な授業形態における悩みや工夫等を共有するとともに、今後の日本教育工学会の役割やあり方を整理することができました。具体的には、授業実践や LMS の利用方法のノウハウのほか、オンラインでの試験の実施方法に関する情報が共有されました。グループ内での対話では、実習の対応について各専門領域からの知見が共有されるなど、本企画が領域を超えた情報のハブとして機能している様子も見受けられました。さらに、今後の日本教育工学会には、オンライン授業に関する知見の集約・公開、実践の論文化の支援、教育工学の学問領域からの社会への発信が期待されていることが確認されました。これらの意見や要望を今後の企画に取り入れ、社会のニーズに合った先進的实践および研究に取り組む多くの会員への支援を推進していく予定です。



グループ活動用に準備されたスライド（左）と付箋ツール（右）

文責：瀬戸崎典夫（長崎大学），大崎理乃（産業技術大学院大学），山田雅之（九州工業大学）

2. 午後の部 14:15~16:30 シンポジウム（会員・非会員対象）

「オンライン授業のあり方を考える ～コロナウイルス対策での実践を振り返って～」

司会：永田智子（兵庫教育大学）

話題提供：本田裕紀（熊本市教育センター副所長）

岩崎千晶（関西大学）

村上正行（大阪大学）

指定討論：稲垣忠（東北学院大学）

参加人数：150 名（YouTube 110 名）

午後の部のシンポジウムでは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対策として、小・中・高・大の校種を問わず、取り組まれてきたオンライン授業をテーマとしました。十分な準備時間、環境が整わない中、児童・生徒・学生の学びを止めないように、さまざまな教育活動や学習支援活動が行われており、オンライン授業の利点や特性も明らかになる一方で、問題点や課題なども出てきています。これらの背景から、本シンポジウムでは、開催当日の段階において、さまざまな校種の事例（特に組織的な取り組み）を共有した上で、午前のラウンドテーブルの取り組みも含め、これまでのオンライン授業の取り組みについて振り返り、オンライン授業を進めていく上でのポイント、今後の教育における ICT 活用の課題などについて議論しました。

本田裕紀（熊本市教育センター副所長）から、熊本市の小中学校における組織的なオンライン授業の取り組みについて報告がありました。背景として、2016 年に発生した熊本地震からの復興に向けて、ICT 環境整備を一気に進めたことが紹介されました。COVID-19 の影響が出てきていたことから、2020 年 02 月の段階から Zoom の研修を実施し、03 月からアンケート調査を行った上で、オンライン授業のモデルの作成に取り組み、オンライン授業の研修を実施した流れについて説明がありました。オンライン授業をスモールステップで進めていくことを重視し、オンライン授業のモデルを Web サイトや YouTube で情報を提供しています。その後、小中学校で行われたオンライン授業の実践事例について紹介され、日頃の授業のやり方がオンライン授業にも反映されることが述べられました。

岩崎千晶（関西大学）からは、関西大学におけるオンライン授業の組織的な支援に関する実践について紹介がありました。関西大学では、2020 年 04 月の前半が休校となり、04 月 3 週目よりオンライン授業が開始することが決定されました。その状況にあわせた FD 活動として、04 月の 1 週目には個別相談会と Zoom セミナー、2 週目からはオンライン・メールでの FD 相談対応を実施し、多数の参加者があったとのことでした。その後、オンライン授業を始まってからも、レベル別 FD 相談会、評価に関する FD セミナーなどを実施し、半年で全 25 回の FD を実施する見込みであることが報告されました。学習支援では、Zoom によるアカデミックスキルのワンポイント講座やオンラインチュータリングなど、時期とニーズに応じた即時・柔軟な学習支援、各組織が学生ファーストでできることを模索し、実施したことが紹介されました。

村上正行（大阪大学）からは、午前のラウンドテーブルのまとめが紹介されました。オンライン授業に関する議論を通して、校種や地域を超えた交流や学外とつないでのフィールドワークといった遠隔ならではの実践が可能になったこと、ゲスト講師を呼びやすくなったこと、コンテンツの共有が進んだこと、教員同士の交流や情報共有が活発になったことなどがあげられました。また、大阪大学における組織的な支援体制についても説明があり、教員を対象とした「オンライン授業実践ガイド」の作成や、新入生を対象とした「阪大ウェルカムチャンネル」の制作・配信について紹介されました。

指定討論の稲垣忠（東北学院大学）からは、前半に初等中等教育における ICT 環境の実証・整備の経緯やなかなか進んでこなかった現状、オンライン授業の取り組みにおいて動き出した自治体の活動について紹介されました。後半、3 人の登壇者に対して、休校期間中の学力格差の問題にどう対応していくのか、学生・教員からの問い合わせに対応するために部署間連携を行うための工夫、学生の負荷への対応、今後の学会としてやっていくべきこと、などについて質問がなされました。この後、参加者からの質問も含めて、登壇者で議論を行いました。

議論を通して、オンライン授業の実施や組織的に支援していくための知見の共有、オンライン授業の評価方法の検討、学習履歴などに関する教育データ分析についての必要性について述べられ、日本教育工学会として、教育工学の有用性を広くアピールしていくことが重要である、ということで、本シンポジウムは締めくくられました。



文責：村上正行（大阪大学）

日本教育工学会論文誌 特集号 論文募集(第一報)

「特集：初等中等教育のデジタルトランスフォーメーション」

世界各地の初等中等段階の教育において、デジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みが進んでいます。DXは、人々のこれまでの営みを単にデジタルへと置き換えるものではなく、その対象を根底から変化させ、革新をもたらすものとされています。折しも新型コロナウイルス禍によるオンライン学習などの進展、文部科学省によるGIGAスクール構想など、日本の学校教育・家庭学習、塾や通信教育等のインフォーマル教育の間においてDXへの機運も高まってきました。本学会の会員は、教育分野におけるDXに関わる研究に長く取り組んできた方も少なくありません。今日、学会としてそれを特集号テーマに掲げ、理論的・実践的な研究知見を集約し、国内外に広く示していくことが求められていると考えます。DXのための基礎的な研究も含めて、皆様の研究の成果をご投稿下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 対象分野

本特集号で募集する論文テーマについて例示します。DXに関して、初等中等段階の教育の様々な分野で行われている教育活動の設計・実践・評価についての研究を募集いたします。また、DXですのて、下記の例示にとらわれない新分野の研究や、一方で基礎的・基盤的な研究など、DXに関わる様々なテーマを幅広く対象とします。

- (1) 授業におけるICT活用、オンライン教育、協調学習、アクティブラーニング、アダプティブラーニング、ゲーミフィケーションなどの授業や教授、それらを支柱とする教育方法・学習環境に関する実践と評価
- (2) ラーニングアナリティクス、校務情報化などの教育データの活用に関する設計・実践・評価
- (3) AI（人工知能）、AR/VR/MR、IoTなどの先端技術の教育分野における活用に関する設計・実践・評価
- (4) デジタル教科書などのデジタル教材に関する設計・実践・評価
- (5) e-learningやLMSなどの学習システムに関する設計・実践・評価
- (6) プログラミングや情報モラルなどの情報活用能力やメディア・リテラシーに関する設計・実践・評価
- (7) DXに関する、あるいはこれに資する教員養成、教員研修の設計・実践・評価

2. 募集論文の種類

通常の論文誌と同様に、「論文」「システム開発論文」「教育実践研究論文」「資料」「寄書」を募集します。それぞれの論文種別については、投稿規定をご覧ください。論文の査読は、通常の論文誌の場合と同じです。ただし、査読は2回限りとし、編集委員会が示した掲載の条件を修正原稿で満たさない場合は採録になりません。「ショートレター」として既に掲載されている内容を発展させて「論文」として投稿することも可能ですが、単に分量を増やして詳細に説明しただけでは発展させたことになりませんのでご注意ください。なお、本特集号へ投稿された論文が特集号編集委員会にて対象分野外と判断された場合には、一般論文として扱うことになります。あらかじめご了承ください。

3. 論文投稿締め切り日（2021年11月発行予定）

論文投稿締切は2021年の2月初旬になる予定です。詳しい締切日などは、News Letterや学会Webサイトで告知します。

4. 論文投稿の仕方

原稿は、「執筆の手引」(<https://www.jset.gr.jp/journal/instructions-for-authors/>)に従って執筆し、学会ホームページの会員専用Webサイトから電子投稿して下さい。郵送による投稿は受け付けておりません。

5. 問い合わせ先

日本教育工学会事務局
tokushu2021@jset.gr.jp

6. 特集号編集委員会

特集号編集委員長 高橋純（東京学芸大学）
特集号副編集委員長 稲垣忠（東北学院大学）

SIG-01 高等教育・FD / SIG-07 インストラクショナルデザイン

『大学教員のためのFD研修会（オンラインワークショップ）』
開催案内

この研修会は、日本教育工学会がこれまでの知見を活用し、大学教育の授業改善や教員の授業力向上へ寄与しようと、2008年度から実施されているものです。本研修会の修了要件を満たした方には学会より認定書を発行し、本研修を修了したことを証明します。本年度の研修内容は、2011年度から好評である内容を踏襲し、「大学授業デザインの方法－1コマの授業からシラバスまで－」をテーマに開催いたします。

感染症の終息が見込めない状況を踏まえ、本年度は11月～01月にかけてフルオンラインで実施することとしました。ぜひ奮ってご参加下さい。なお、昨年度までのFD研修会修了者向けのファシリテーター研修は、本年度は行いません。認定ファシリテーター向けの添削者研修は実施する予定です。

※最新情報はWebでご確認下さい (<https://www.jset.gr.jp/sig-01/post-2586/>)。

【FD研修】

- 対象：高等教育機関の教員（非常勤講師も含む）、高等教育機関の教員を目指す学生の方

※高等教育機関で授業を行う予定のない方のお申し込みはご遠慮下さい。

- スケジュール：

| | |
|-------------------------------|--------------------|
| 2020年11月13日（金）～2020年12月12日（土） | 事前課題（Moodle） |
| 2020年12月13日（日）13:00～17:00 | オンラインワークショップ（Zoom） |
| 2020年12月14日（月）～2021年01月31日（日） | 事後課題（Moodle） |

- 定員：20名（申し込み着順で、定員になり次第、締め切ります。）

- 参加費：2,000円（学会員）、3,000円（学会員以外）

- テーマ：「大学授業デザインの方法－1コマの授業からシラバスまで－」

- 内容：

参加者それぞれが授業実践事例を持ち寄り、オンラインワークショップ形式で行います。授業のデザインに関する問題意識の明確化、授業のデザインに関する情報・課題の共有などから議論を始め、「何を誰に教えようとしているのか」、「どんな方法で教えるのか」、「続けたい点・変えたい点は何か」などをグループで議論しながら授業の改善案を考えていきます。オンライン授業の方法に特化したワークショップではありません。これまで同様、シラバスや授業全体を対象に改善案の検討を行います。

- 準備物：

高等教育機関において授業実践を行っている参加者は、自分の授業のシラバス、授業資料（スライド、プリント、板書ノートなど）など、授業に関する資料を用意して下さい。学生等で未だ高等教育機関において授業実践を行っていない、もしくは今後実施する予定の参加者は、実施することを想定した授業デザインに関する資料を用意して下さい。詳細は事前課題でご案内します。

- 認定書：最終レポートを提出し、合格した修了生には、日本教育工学会から認定書が授与されます。

- 申し込み：

<会員用>

会員専用ページ「入金確認・支払」より

（最下部の「事前申込項目」から「2020年度 大学教員のためのFD研修会」を選択して支払いに進んで下さい）

https://www.jset.gr.jp/pg/member_s/charge_detail.php

<非会員用>

<https://www.jset.gr.jp/collection/index.php>

【添削者研修】

●参加条件（下記3つをすべて満たすこと）：

- 1) 日本教育工学会の会員であること
- 2) 過去にFD研修・ファシリテーター研修を受講し認定ファシリテーター証が授与されていること
- 3) 添削者研修の事前課題・最終レポートを提出する意思があること

●スケジュール：

FD研修と同じです。オンラインワークショップには認定ファシリテーターとしてご参加いただきます。

●定員：5名（申し込み着順で、定員になり次第、締め切ります。）

●参加費：2,000円

●申し込み：

会員専用ページ「入金確認・支払」より

（最下部の「事前申込項目」から「2020年度 大学教員のためのFD研修会（添削者研修）」を選択して支払いに進んで下さい）

https://www.jset.gr.jp/pg/member_s/charge_detail.php

【企画者等】

●企画：SIG-01（高等教育・FD），SIG-07（インストラクショナルデザイン）

●コーディネータ：

【SIG-01】岩崎千晶（関西大学），遠海友紀（東北学院大学），勝又あずさ（関西学院大学），根本淳子（明治学院大学），松河秀哉（東北大学），村上正行（大阪大学），森幹彦（法政大学），渡辺雄貴（東京理科大学）

【SIG-07】市川尚（岩手県立大学），甲斐晶子（熊本大学），杉浦真由美（北海道大学），高橋暁子（徳島大学），渡邊文枝（東北大学）

●認定ファシリテーター：

上田和子（武庫川女子大学），木村美奈子（九州共立大学），鈴木浩子（明星大学），矢島孔明（人間総合科学大学），山田勝洋（名古屋女子大学短期大学部）

●監修：鈴木克明（熊本大学・日本教育工学会会長）

●幹事：高橋暁子（徳島大学），甲斐晶子（熊本大学）

【お問合せ先】

●高橋暁子 E-mail: fd-staff@jset.gr.jp

文責：高橋暁子（徳島大学）

SIG-11 情報教育

第 18 回研究会『大学生に対する情報リテラシーの達成状況について』開催案内（第二報）

SIG-11 では、大学生の情報リテラシーについて、7つの分野で作成した質問紙調査を実施した。第18回研究会では、今回の調査結果をもとにした分析を報告し、情報教育のカリキュラムを検討する。

- 日時：2020年09月11日（金）14:00～15:30
- 会場：オンライン開催（申込者に詳細を連絡します）
- テーマ：「大学生に対する情報リテラシーの達成状況について」
- プログラム：

第1部 分野ごとの報告

| | |
|--------------|---------------------|
| 情報モラル | 加納寛子（山形大学） |
| 情報機器の操作 | 橋本はる美（摂南大学） |
| 問題解決・情報分析 | 小棹理子（ソニー学園湘北短期大学） |
| 問題解決・情報分析 | 中田美喜子（広島女学院大学） |
| 情報システム・情報の歴史 | 糟谷咲子（岐阜聖徳学園大学短期大学部） |

第2部 全体討論

- 申込方法：参加希望者は09月08日（火）までに、氏名・所属を記載したメールをお送りください。
メールの件名：第18回情報教育研究会申込
申込アドレス：sig-11staff@jset.gr.jp

文責：橋本はる美（摂南大学）

『第9～10回 ID 勉強会（自主ゼミ）』開催報告

- 日時：第9回 2020年06月11日（木）13:00～13:40
第10回 2020年08月06日（木）13:00～13:40
- 参加者数：第9回9名，第10回10名
- 会場：[オンライン]Zoom

SIG-07（インストラクショナルデザイン：Instructional Design, ID）では、オンラインで1～2か月に1回程度の頻度でID勉強会（自主ゼミ）を開催しています。毎回テーマは異なり、参加者が持ち回りでID関連論文またはID専門書の講読を行います。今回はまとめて2回分の報告をさせていただきます。

第9回の題材は「ラーニング・プログレッションズ」でした。

大島純・千代西尾祐司（2019）『学習科学ガイドブック』北大路書房，p. 94-97

昨年度の後半から、インストラクショナルデザイン×学習科学をテーマとして自主ゼミを行なっています。教育のワールドクラス（2019）（アンドレアス・シュライヒャー著）p.94に「ラーニング・プログレッション」という用語があったこともあり、上記の書籍を題材としました。

ラーニング・プログレッションズとは、適切な教育の下で概念やスキルがどのように発達しうるかについての、学術研究のエビデンスに基づいて構築された仮説的なモデルです。カリキュラム構成原理としての特徴として、カリキュラムは領域で固有（発達の領域固有性を強調）であり、発達段階が単線型ではなく複線型、発達段階が教育と不可分であることが示されていました。

参加者からは、「これまでラーニング・プログレッションズに類似した実践はされているものの、ラーニング・プログレッションズとして定義されていなかったのではないか」「低学年であれば発達段階に応じた検討ができるが、高等教育での応用は難しいのでは」「低学年においても、経験によって発達段階は異なるのでは」などの疑問があげられました。また「学年横断型の授業で活用できそう」など、発展的な意見も聞かれました。

第10回の題材は「課題解決型学習」でした。

ジョゼフ・S・クレイチャック，ナムスー・シン（2016）「第14章 課題解決型学習」（河崎美保訳），R.K.ソーヤー 編，大島純ほか監訳『学習科学ハンドブック 第2巻』北大路書房，p17-35

担当者のこれまでの職業経験（中等教育後期の学齢を含む工学系高等教育機関での授業改善，プロジェクト科目導入）などの点で関心があり，今回は上記の書籍を題材としました。

課題解決型学習（Project-Based Learning）は，科学リテラシーの獲得という学習目標に対して有効な教育方法です。この学習は生徒にとって重要で，プロフェッショナルの取り組む問題に類似した現実の有意義な（meaningful）問題に取り組みます（科学教育，研究的基盤（学習科学理論））。

参加者からは，「優れた駆動質問はどうやって作るのか」「自身の経験を振り返り，経験と理論を組み合わせることによってよい駆動質問を作ることができるのではないか」「国際バカロレアの教育が類似しているため参考になるのでは」などの意見が聞かれました。

レジメなどの詳細および今後の予定などの最新情報は，SIG-07 の Web サイト（<https://sites.google.com/view/jset-sig-id>）にて随時更新します。参加を希望される方は，ID勉強会（自主ゼミ）申し込みフォームからお申し込み下さい。



文責：杉浦真由美（北海道大学）・高橋暁子（徳島大学）

SIG-13 STEM教育

第4回研究会『どうする STEM/STEAM 教育？
(STEM/STEAM 教育はじめての一步)』開催報告

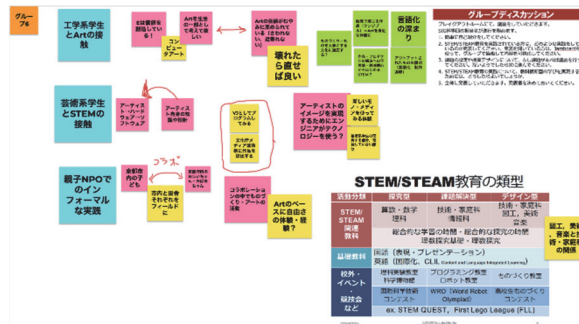
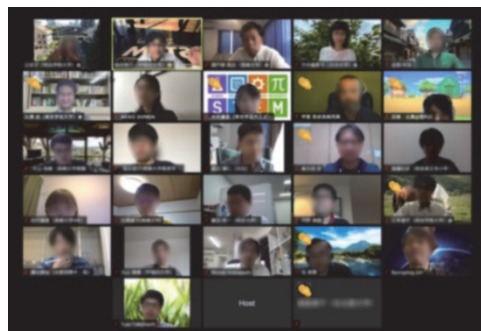
- 日時：2020年07月24日（金）15:30～17:00
- 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
- 参加者数：29名
- テーマ：「どうする STEM/STEAM 教育？（STEM/STEAM 教育はじめての一步）」
- プログラム：
 - 15:30～15:40 STEM/STEAM 教育への一步
 - 15:40～16:40 これからの STEM/STEAM 教育の実践について（グループセッション）
 - 16:40～16:50 振り返りとまとめ
 - 16:50～17:00 閉会のあいさつ

本研究会は、これまでに STEM/STEAM 教育を実践してきた方、あるいはこれからの実践を考えている方に広く参加を呼びかけ、STEM/STEAM 教育をこれから実践する上での課題を整理するとともに、解決策について議論を行った。

まず、森田裕介（早稲田大学）が「STEM/STEAM 教育への一步」として、SIG-13 の活動報告とともに、これまでの研究の成果や SIG 活動で得られた知見を基に STEM/STEAM 教育の理論に関する説明を行った。課題の設定の重要性や、学年・学校種を縦断した学習活動モデルの紹介が行われた。

次に、「これからの STEM/STEAM 教育の実践について」としてグループセッションを行った。グループセッションでは、Zoom のブレイクアウトルーム機能を用いて6つのグループに分かれ、STEM/STEAM 教育の実践事例や、これからの実践を検討している教員・研究者の抱えている疑問や不安を基に、STEM/STEAM 教育のデザインや教科横断型の学びの実現に向けた話し合いが行われた。話し合いの活動では Google Jamboard を用いた共同作業を行い、お互いの持つ STEM/STEAM 教育に関する課題意識やアイデアの交流が活発に行われた。

最後に、各グループでの話し合いの成果を全体で共有した。多様な参加者による STEM/STEAM 教育に関する意見交換が行われ、非常に有意義な研究会となった。



文責：江草遼平（明治学院大学）

研究会の開催予定 テーマ：教育の情報化／一般

- 日 時：2020年10月25日（日）
- 申込締切：申込みは終了しました

- 会 場：オンライン開催（担当：佐藤和紀）
 - 原稿提出：2020年09月24日（木）17時
-

●募集内容：

現在、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、様々な教育機関において遠隔教育の導入、実施が検討されています。これまでどおりの授業は実施できなくなり、教育現場に工夫が求められています。また遠隔教育に限らず、小学校では2020年度より、中学校では2021年度から学習指導要領が全面実施されます。同時に、文部科学省によるGIGAスクール構想の実現に向けて、全国各地で様々な取り組みが行われています。そうしたなかで実効性の高い教育方法・教育実践に関する研究は、重要な研究課題と言えます。

このような状況を背景に、本研究会では教育方法・教育実践研究に関する研究報告を募集します。また従来どおり、教育工学一般に関する発表も募集します。

研究会の発表募集 テーマ：学習支援システム／一般

- 日 時：2020年12月12日（土）
- 申込締切：2020年10月12日（月）17時

- 会 場：オンライン開催（担当：倉田伸）
 - 原稿提出：2020年11月12日（木）17時
-

●募集内容：

現在、文部科学省が提案したGIGAスクール構想で示されている1人1台のパソコン環境が全ての学校現場で整備されています。また、新型コロナウイルスの関係上、初等中等教育だけでなく高等教育においても、対面での授業や講義を実施せず、オンライン学習を積極的に行っています。このような状況下では、パソコンを活用することを前提とした学びが必須となります。そのような学びを充実させるには、学びを支援する学習環境構築は必要不可欠であり、そのための学習者の学びを支援するシステムの開発は重要な課題の1つであると言えます。

このような状況を背景に、本研究会では学習支援システムに関する研究報告を募集します。また従来どおり、教育工学一般に関する発表も募集します。

●締切日時は“平日17時”です。ご注意ください。

●原稿執筆：締切後1週間以内に、申込時に登録されたメールアドレス宛てに発表の採択結果と執筆要項をお送り致します。

●原稿提出：原稿の提出はPDF形式で、研究会Webページの「発表申込フォーム」より、発表申込時に発行された「受付キー」を使用してご登録下さい。なお、期限までにご提出いただけない場合は、自動的に発表取消となりますのでご注意ください。

年間予約購読のお勧め

- 年間購読：研究会報告集の年間予約購読価格は郵送料込みで3,000円です（当日売りは1冊1,000円と割高になります）。研究会の受付でも年間購読を受け付けております。
-

研究会の開催報告 テーマ：教育方法・教育実践研究／一般

- 日 時：2020年07月11日
 - 会 場：オンライン開催
 - 発表件数：16件
 - 参加者数：84名（内非会員15名）
-

今回の研究会では、「教育方法・教育実践研究」をメインテーマに実施し、一般発表と合わせて16件の発表がありました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、申込みの段階からオンラインでの開催が決定していたこともあり、申込み件数が少なくなりました。セッションは、午前午後あわせて4セッションが行われ、九州から北海道までの広範囲の参加者がオンライン上に集まり、活発な議論が行われました。広い地域から参加頂けることはオンライン開催ならではの考えます。日本教育工学会研究会では、2度目のオンライン開催ということもあり、少しずつですが運営のノウハウができてきました。一方で、対面の開催とは異なり、発表後の意見交換の場が提供できないことが、今後の課題だと考えます。

本研究会にご参加いただきました皆様、また開催にあたりご支援・ご協力をいただきました皆様に深く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

※オンラインでの開催だったため、研究会の様子の写真がありません。ご了承下さい。

担当：野口聡（新島学園短期大学）

日本教育工学会第 18 期第 11 回理事会議事録

日時：令和 02 年 04 月 24 日（金）～30 日（木）

場所：電子メールによる

出席：理事 鈴木克明 会長，赤倉貴子 副会長，堀田龍也 副会長，山内祐平 副会長，
室田真男 事務局長，新井健一，稲垣 忠，岩崎千晶，大久保昇，小柳和喜雄，
北澤武，木原俊行，向後千春，高橋純，寺嶋浩介，永田智子，西森年寿，根本淳子，
姫野完治，益子典文，松河秀哉，村上正行，森田裕介，望月俊男，山田政寛
監事 山西潤一，吉崎静夫
総務委員会 池尻良平

（合計 28 名）

1. 前回の理事会議事録の承認について

第 18 期第 9 回理事会議事録，および第 18 期第 10 回理事・評議員会（合同）議事録について原案が提示され，承認した。

2. 新入会員の承認について

会員の移動状況について報告があり，承認した。2020 年 04 月 30 日現在の総会員数は 3,179 名となった。

3. 各種委員会から

(1) 編集委員会

論文誌編集，ITEL の募集開始報告に関する報告があった。

(2) 広報委員会

学会 HP の各ページの管理権限の委譲について原案が提示され，承認した。

(3) 大会企画委員会

春季全国大会オンライン試行に関する報告と，次期春大会企画委員会委員に関する報告があった。

(4) 研究会委員会

05/23 の研究会の現地開催を中止し，オンライン開催にする原案が提示され，承認した。
10/24 の研究会を 10/25 に変更する原案が提示され，承認した。

(5) 国際交流

AECT との連携に関する進捗について報告があった。

(6) 顕彰委員会

委員の交代と，大会 2 回化に伴う研究奨励賞選考規程の改正について報告があった。

(7) 選挙管理委員会

日本教育工学会第 19 期役員選挙に関する変更点の原案が提示され，承認した。
次期役員・評議員候補者の推薦について（依頼）の文書の原案が提示され，承認した。

4. その他

(1) 郵送物を確認した。

(2) 今後の理事会日程を確認した。

以上

日本教育工学会 18 期臨時理事会（04/30～05/06）議事録

日時：令和 02 年 04 月 30 日（木）～05 月 06 日（水）

場所：電子メールによる

出席：理事 鈴木克明 会長，赤倉貴子 副会長，堀田龍也 副会長，山内祐平 副会長，
室田真男 事務局長，新井健一，稲垣忠，岩崎千晶，大久保昇，小柳和喜雄，北澤武，
木原俊行，向後千春，高橋純，寺嶋浩介，永田智子，西森年寿，根本 淳子，
姫野 完治，益子典文，松河秀哉，村上正行，森田裕介，望月俊男，山田政寛
監事 山西潤一，吉崎静夫
総務委員会 池尻良平

（合計 28 名）

1. 議事：日本教育工学会 2020 秋季全国大会のオンライン開催について

大会企画委員会（秋）より，新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑みて，日本教育工学会 2020 秋季全国大会をオンラインのみの正式開催にすること，大会のコンセプトは変えないものの申し込みのスケジュールを変更すること，大会に関する詳細は 05 月 30 日の理事会決定後に順次知らせることを，あわせて会員に告知する提案がなされ，承認した。

2. その他

今後の理事会日程について確認した。

日本教育工学会第 18 期第 12 回理事会議事録

日時：令和 02 年 05 月 30 日（土）14:40-17:00

場所：遠隔会議システム（zoom）による

出席：理事 鈴木克明 会長，赤倉貴子 副会長，堀田龍也 副会長，山内祐平 副会長，
室田真男 事務局長，稲垣忠，岩崎千晶，大久保昇，小柳和喜雄，木原俊行，
向後千春，北澤武，高橋純，寺嶋浩介，姫野完治，永田智子，西森年寿，
根本淳子，益子典文，松河秀哉，村上正行，望月俊男，森田裕介，山田政寛
監事 山西潤一，吉崎静夫
将来構想 WG 美馬のゆり
総務委員会 池尻良平

（合計 28 名）

1. 前回の理事会議事録の承認について

第 18 期第 11 回理事会議事録と臨時理事会議事録（04/30～05/06）について原案が提示され，承認した。

2. 新入会員の承認について

会員の移動状況について報告があり，承認した。2020 年 05 月 30 日現在の総会員数は，3,197 名である。

3. 各種委員会から

(1) 編集委員会

論文誌編集進捗状況と ITEL の進捗状況について報告があった。

(2) 広報委員会

JSET の WWW 改修のスケジュールとニューズレター242 号の編集スケジュールについて提案され，承認した。

(3) SIG 委員会

2019 年度の活動報告と 2020 年度の活動計画の申請の進捗と，第三期に向けた運営体制について，報告がなされた。

(4) 大会企画委員会 秋

2020 年秋季全国大会の方針，開催方法，キーノートとシンポジウムの進捗状況，春季大会での会費について提案され，承認した。また，ポスター発表の方法，形式，オブリゲーションについて提案され，承認した。大会のチュートリアルと企業展示の方法，形式について提案され，承認した。秋季全国大会の WEB サイトのレイアウトについて提案され，方針について合意した。

(5) 大会企画委員会 春

本教育工学会 2020 年春季全国大会 評価アンケート結果について報告された。幹事の再設置，大会までのスケジュール，大会企画委員の追加について提案され，承認した。

(6) 研究会委員会

05 月 23 日研究会（オンライン開催）の報告がなされた。10 月，12 月の研究会について，オンライン開催にすることについて提案され，承認した。

(7) 企画委員会

06 月のシンポジウムの内容について報告された。シンポジウムの形式について提案され，承認した。

(8) 国際交流

AECT2020 国際カンファレンス（11 月）の現状の予定について報告がなされた。

(9) 顕彰委員会

第 35 回研究奨励賞の選考状況，第 34 回論文賞の選考状況，第 34 回論文賞選考に関わる顕彰

委員会選考委員の選任についての報告がなされた。

(10) 選挙管理委員会

予備投票の開票結果に基づき、次期会長，理事，評議員，監事候補者を承認した。

4. 総務・会計

(1) 法人化設立時社員について

法人化設立時社員2名について承認した。

(2) 第36回通常総会について

総会の議題の資料について提案され，承認した。総会とシンポジウムのオンライン実施の方法に関する提案がなされ，承認した。

5. その他

(1) 協賛依頼について，承認した。

(2) 郵送物について，確認した。

(3) 今後の理事会日程を確認した。

以上

日本教育工学会第 18 期第 13 回理事・評議員会(合同)議事録

日時：令和 02 年 06 月 20 日（土）13：30～14：00

場所：遠隔会議システム（zoom）による

出席：理事 鈴木克明 会長，赤倉貴子 副会長，堀田龍也 副会長，山内祐平 副会長，
室田真男 事務局長，稲垣忠，岩崎千晶，大久保昇，北澤武，木原俊行，向後千春，
高橋純，寺嶋浩介，永田智子，西森年寿，根本淳子，益子典文，松河秀哉，村上正行，
山田政寛

評議員 池尻良平，江木啓訓，大浦弘樹，大山牧子，加藤浩，岸磨貴子，三宮真智子，重田勝介，
瀬戸崎典夫，高橋暁子，時任隼平，深見俊崇，益川弘如，森本康彦，渡辺雄貴

監事 吉崎静夫，山西潤一

将来構想 WG 美馬のゆり

（合計 38 名）

1. 前回の理事会議事録の承認について

第 18 期第 12 回理事会議事録について原案が提示され，承認した．

2. 各種委員会から

(1) SIG 委員会

2019 年度の各 SIG の活動報告と，2020 年度の各 SIG の活動計画について報告された．

3. 今後の学会運営について

今後の学会運営について意見交換がなされた．

4. その他

(1) 郵便物を確認した．

(2) 今後の理事会日程を確認した．

以上

日本教育工学会第 18 期第 14 回理事会議事録

日時：令和 02 年 07 月 18 日（土）

場所：「JAPET&CEC 会議室」と「遠隔会議システム（zoom）」

出席：理事 鈴木克明 会長，赤倉貴子 副会長，堀田龍也 副会長（遠隔），山内祐平 副会長，室田真男 事務局長，稲垣忠（遠隔），岩崎千晶（遠隔），小柳和喜雄（遠隔），木原俊行，向後千春（遠隔），北澤武（遠隔），高橋純（遠隔），寺嶋浩介（遠隔），姫野完治（遠隔），永田智子（遠隔），西森年寿（遠隔），根本淳子，松河秀哉（遠隔），村上正行（遠隔），望月俊男（遠隔），森田裕介（遠隔），山田政寛（遠隔）

監事 吉崎静夫（遠隔）

将来構想 WG 美馬のゆり（遠隔）

総務委員会 池尻良平（遠隔）

（合計 25 名）

1. 前回の総会および理事会評議員（合同）会議事録の承認について

第 36 回総会議事録と第 18 期第 13 回理事会評議員（合同）会議事録について原案が提示され，承認した。

2. 新入会員の承認について

会員の移動状況について報告があり，承認した。2020 年 07 月 18 日現在の総会員数は，3,263 名である。

3. 各種委員会から

(1) 編集委員会

論文誌編集進捗状況について報告があった。委員の交代について提案され，承認した。

(2) 広報委員会

JSET の WWW 改修が完了した旨，報告がなされた。

(3) SIG 委員会

日本教育工学会と放送大学学園との放送番組の連携制作に関する覚書(案)が提案され，承認した。

(4) 大会企画委員会 秋

2020 年の秋季全国大会の運営進捗の報告と運営方針の提案がなされ，承認した。

(5) 大会企画委員会 春

2021 年の春季全国大会の企画が提案され，承認した。

(6) 研究会委員会

2020 年 07 月 07 日の研究会の実施結果について報告がなされた。2020 年度の委員交代について提案がなされ，承認した。研究会の発表原稿をデジタル化する方針について，検討することになった。

(7) 企画委員会

2020 年 06 月のシンポジウム，ラウンドテーブルの実施結果について報告がなされた。

(8) 国際交流

EDU-Port の申請が採択された旨，報告がなされた。また，AECT2020 国際カンファレンス（11 月）がオンラインで開催されることについて報告がなされた。

(9) 顕彰委員会

第 35 回研究奨励賞と第 34 回論文賞の選考結果について承認した。

(10) 選挙管理委員会

会長，理事，評議員の予備投票の選挙結果（名簿記載者）について報告がなされた。

4. 今後の学会運営について

将来構想ワーキンググループの秋季全国大会での活動予定について報告がなされた。

5. その他

(1) 協賛依頼について，承認した。

(2) 郵送物について，確認した。

(3) 今後の理事会日程を確認した。

以上

日本教育工学会第 18 期臨時理事会 (07/31～08/06) 議事録

日時：令和 02 年 07 月 31 日（金）～08 月 06 日（木）

場所：電子メールによる

出席：理事 鈴木克明 会長，赤倉貴子 副会長，堀田龍也 副会長，山内祐平 副会長，
室田真男 事務局長，新井健一，稲垣忠，岩崎千晶，大久保昇，小柳和喜雄，北澤武，
木原俊行，向後千春，高橋純，寺嶋浩介，永田智子，西森年寿，根本淳子，姫野完治，
益子典文，松河秀哉，村上正行，森田裕介，望月俊男，山田政寛

監事 山西潤一，吉崎静夫

総務委員会 池尻良平

（合計 28 名）

1. 議事：「ITEL [20-001-R1]投稿論文の二重投稿」について

ITEL [20-001-R1]投稿論文の二重投稿について，「1. 投稿論文については，不正行為に基づく Reject とする」，「2. 並行投稿先である EPED の編集委員会に対して，投稿者により本不正行為があったことを通知する」の 2 点を承認した．

2. その他

今後の理事会日程について確認した．

日本教育工学会第 36 回通常総会 議事録

日時：2020 年 06 月 20 日（土）12:00-13:00

会場：オンライン開催

議事

議事に先立ち、鈴木会長より、2019 年度の挨拶があった。鈴木会長が議長となり、議事を進行した。なお、オンライン総会における議案承認方法について、「議長からの議案に関する質問の有無の確認後、15 秒以上発言のリクエストがなかった場合、議案を承認いただいたものとする」と説明がなされた。

1. 総会の成立について

出席者について報告があり、正会員 2,352 名中、オンライン出席者 72 名、委任状 561 通により、定款第 47 条「総会は、正会員総数の 10 分の 1 以上出席しなければ、その議事を開き、議決することができない。（以下略）」に照らし、総会が成立していることの報告があった。

2. 第 1 号議案「2019 年度事業報告及び収支決算承認の件」

室田理事より、日本教育工学会ニューズレターNo.242 の pp.3-8 の「2019 年度事業報告及び収支決算」に関する議案資料に基づき説明があった。引き続き、山西監事より「5 月 15 日に会計監査を実施し、適正かつ正確に処理されていることを確認した」との監査報告があった。なお、正味財産増減計算書の「Ⅰ 1（1）経常収益」について、個別費目の増減の数値がずれていたため、次号のニューズレターに訂正版を掲載することになった。全会一致で第 1 号議案を承認した。

3. 第 2 号議案「2020 年度事業計画案及び収支予算案承認の件」

室田理事より、日本教育工学会ニューズレターNo.242 の pp.9-13 の「2020 年度事業計画案及び収支予算案」に関する議案資料に基づき説明があった。経常費用計の「予算額の差異」の金額について、-5,897,000 円と訂正がなされ、次号のニューズレターに訂正版を掲載することになった。全会一致で第 2 号議案を承認した。

4. 第 3 号議案 一般社団法人への移行

益子理事より、日本教育工学会ニューズレターNo.242 の pp.14-26 「一般社団法人への移行」に関する説明があり、全会一致で第 3 号議案を承認した。

以上

新入会員(2020年05月22日～2020年07月08日)

入会申込者 84名(正会員:36名, 准会員:6名, 学生会員:42名)

正会員(36名)

松尾由美(江戸川大学)
酒井佳世(久留米大学)
鈴木里砂(文京学院大学)
西口啓太(関西学院大学)
加藤久恵(兵庫教育大学)
新倉文子(神奈川県立横須賀工業高等学校)
長津結一郎(九州大学)
羽田邦弘(十文字学園女子大学)
伊藤慧(株式会社ナガセ)
田中恵子(京都情報大学院大学)
野間川内一樹(株式会社ワオ・コーポレーション)
浅見大二郎(墨田区立第二寺島小学校)
岡本小枝(松戸市教育委員会)
藤田諭(広島大学)
小久保彰(日本女子大学)
阿部(寺井)朋子(武庫川女子大学)
中島寿宏(北海道教育大学)
今井康之(鳥羽商船高等専門学校)
原瑞穂(山梨大学)
木口恵理子(八王子学園八王子中学校高等学校)
森佳奈枝(東京通信大学)
伊藤洋一(株式会社データ総研)
村山隆(上越教育大学教職大学院)
原田久美子(慶應義塾大学SFC研究所)
小川眞理絵(東京経営短期大学)
須藤賢太郎(アルー株式会社)
瀧知恵美(株式会社ミミクリデザイン)
秋葉広人(北里大学保健衛生専門学院)
鈴木聡(鳥羽商船高等専門学校)
柳澤尚利(横浜市教育委員会事務局)
中村宏(東京通信大学)
刑部友理(キャンドルウィック株式会社)
今城志保((株)リクルートマネジメントソリューションズ)
中嶋郁雄(奈良県奈良市立明治小学校)
神林裕子(札幌国際大学短期大学部)
廣澤一徳(静岡県立静岡西高等学校)

准会員(6名)

高橋一也(工学院大学)
西田喜平次(兵庫医療大学)
石田なお子((株)HRインスティテュート)
日永龍彦(山梨大学)
増永恵子(順天堂大学医学部附属静岡病院)
大野学(株式会社医学書院)

学生会員(42名)

栗山俊之(熊本大学大学院)
中山見知子(鳴門教育大学大学院)
阿部雄太(上越教育大学教職大学院)
中越拓海(広島大学大学院)
程子軒(東京理科大学大学院)
富田晟央(東京理科大学)
高橋和江(兵庫教育大学大学院)
中島久美子(鳴門教育大学大学院)
石津真保(熊本大学大学院)
櫻井浩章(東京電機大学大学院)
渡辺崇(東京電機大学大学院)
秤谷隼世(京都大学大学院)
鈴木美森(常葉大学)
馬場拓実(東京理科大学)
飯島由理子(横浜市立大学大学院)
徳永達(東京理科大学)
服部珠央(横浜国立大学)
松本明人(熊本大学)
中山雄貴(北陸先端科学技術大学院大学)
高橋操(熊本大学大学院)
澤田亮(東北大学大学院)
大橋里沙(東京学芸大学大学院)
古澤未菜(東京学芸大学大学院)
吉村利佐子(岡山大学)
石井優奈(上智大学大学院)
辻和洋(立教大学大学院)
鈴木理紗子(兵庫教育大学)
福田綾香(兵庫教育大学)
PATERSONREBECCA LEE(京都大学)
和田翔太(放送大学大学院)
近藤一貴(東京学芸大学教職大学院)
角海音(豊橋技術科学大学)
梁嶋悠介(早稲田大学大学院)
川村美好(熊本大学大学院)
坂本誠(東京学芸大学大学院)
宮地孝之介(早稲田大学大学院)
前田洋志(和歌山大学)
松岡翼斗(和歌山大学)
宮崎幸弘(鳴門教育大学大学院)
足立隆弘(鳴門教育大学大学院)
加藤走(立教大学大学院)

◎学会日誌

2020年09月～2021年05月

- ・ 2020年09月12日(土) から09月13日(日)
＜全国大会＞2020 年秋季全国大会(会場: 札幌市教育文化会館) オンライン開催
- ・ 2020年10月25日(日)
研究会「教育の情報化/一般」(会場: 常葉大学 静岡草薙キャンパス) オンライン開催
- ・ 2020年12月12日(土)
研究会「学習支援システム/一般」(会場: 長崎大学 文教キャンパス) オンライン開催
- ・ 2021年03月06日(土) から07日(日)
＜全国大会＞2021 年春季全国大会(会場: 関西学院大学)
- ・ 2021年05月22日(土)
研究会「STEAM 教育/一般」(会場: 富山大学 五福キャンパス)

◎国際会議の案内

2020年09月～2021年04月

- ・ Innovate Learning Summit
<http://www.aace.org/conf/summit/>
(2020, 11/2 - 5, San Diego)
- ・ AECT 2020 Virtual Conference
<https://www.aect.org/>
(2020, 11/2 - 7)
- ・ Global Learn 2020
<http://www.aace.org/conf/glearn/>
(2020, 11/30 - 12/2, Cape Town, South Africa)
- ・ TALE 2020
<http://tale2020.org/>
(2020, 12/8 - 11, Online)
- ・ SITE 2021
<https://site.aace.org/conf/>
(2021, 3/29 - 4/2, San Diego)
- ・ AERA 2021
<https://www.aera.net/Events-Meetings/Annual-Meeting/2021-Annual-Meeting-Theme>
(2021, 4/9 - 11, Orlando, FL)

お問い合わせ先 E-mail

- 論文投稿に関するお問い合わせ
編集委員会 editor@jset.gr.jp
- 研究会の開催についてのお問い合わせ
研究会事務局 study-group-core@jset.gr.jp
- 全国大会の開催についてのお問い合わせ
大会企画委員会 taikai2019@jset.gr.jp
- 合宿研究会やシンポジウムの開催について
のお問い合わせ
企画委員会 kikaku@jset.gr.jp
- ニュースレター編集に関するお問い合わせ
広報委員会 kouhou@jset.gr.jp
- その他のお問い合わせ
学会事務局 office@jset.gr.jp

広報委員会

担当副会長 : 赤倉 貴子(東京理科大学)
 広報委員長 : 小柳和喜雄(関西大学)
 広報副委員長: 高橋 純(東京学芸大学)
 広報副委員長: 光原 弘幸(徳島大学)
 幹事: 深見 俊崇(島根大学)
 幹事: 脇本 健弘(横浜国立大学)
 委員: 島田 希(大阪市立大学)
 中村 恵(畿央大学)

E-mail : kouhou@jset.gr.jp

発行所●

日本教育工学会事務局
 〒107-0052
 東京都港区赤坂1-9-13
 三会堂ビル8階

TEL 03-5549-2263
 FAX 03-5575-5366
 E-mail : office@jset.gr.jp
<https://www.jset.gr.jp>
 郵便振替00180-2-539055

日本教育工学会ニュースレター
 No. 244
 2020年9月4日

発行人●会長 鈴木 克明(熊本大学)